

# オヤコメセン

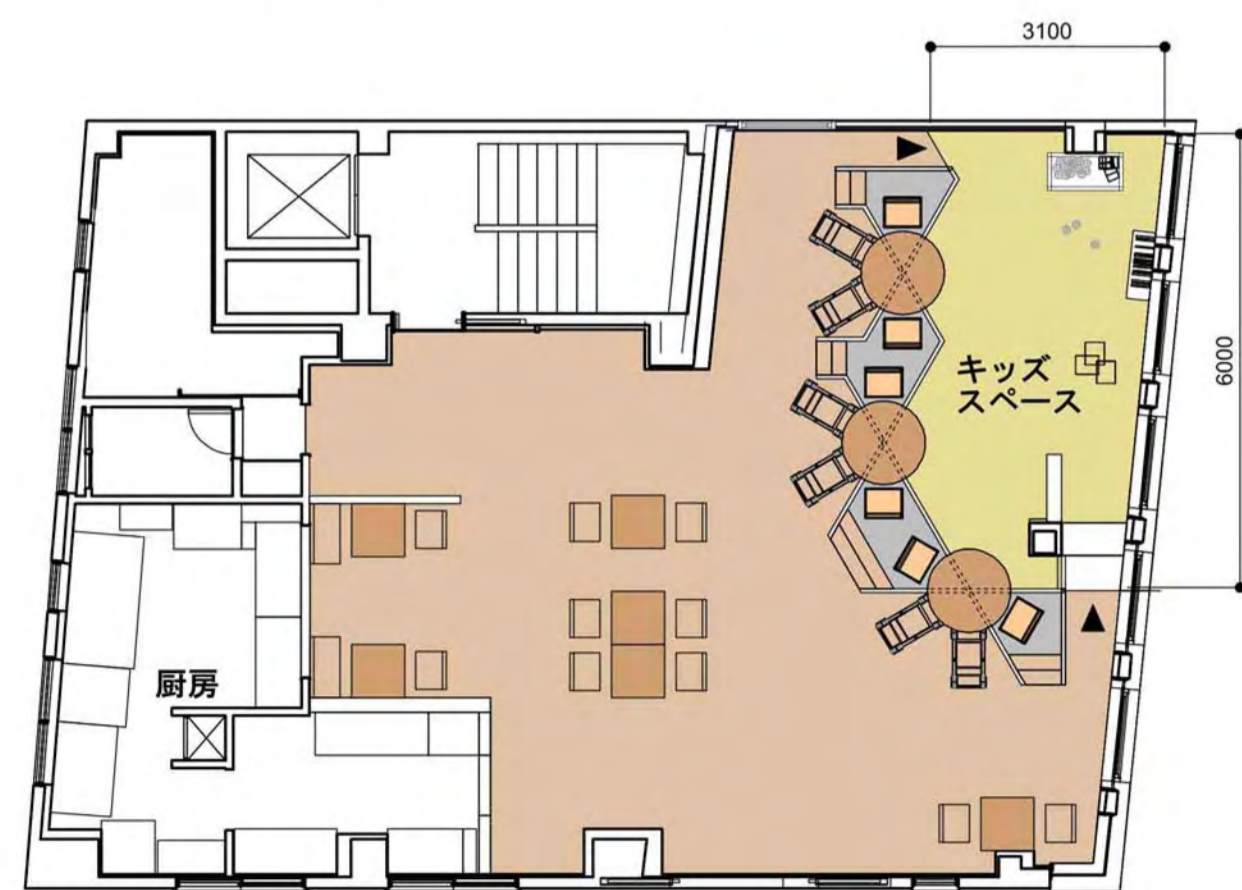


## デザイン・コンセプト

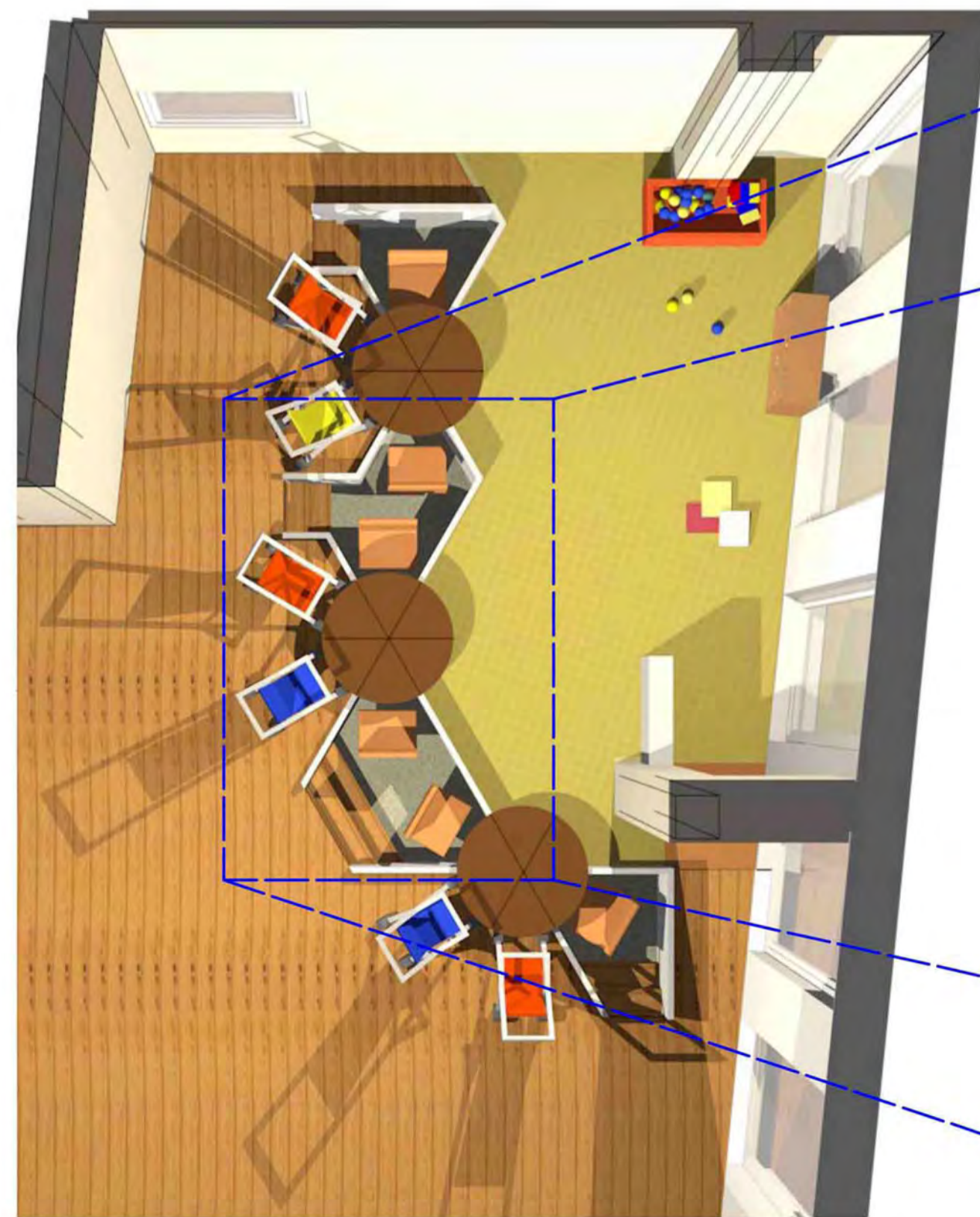
ベビーカーを連れている人は周りの人に気を遣い、周りからは邪魔扱いされることがある。しかし、カフェに訪れる人の対象を親子にし、ベビーカーも通りやすい空間にすることで、気軽にカフェに入ることができる。

たくさんの親子がこのカフェに気軽に訪れることで、他人の親子ともコミュニケーションがとれサードプレイスの場になる。

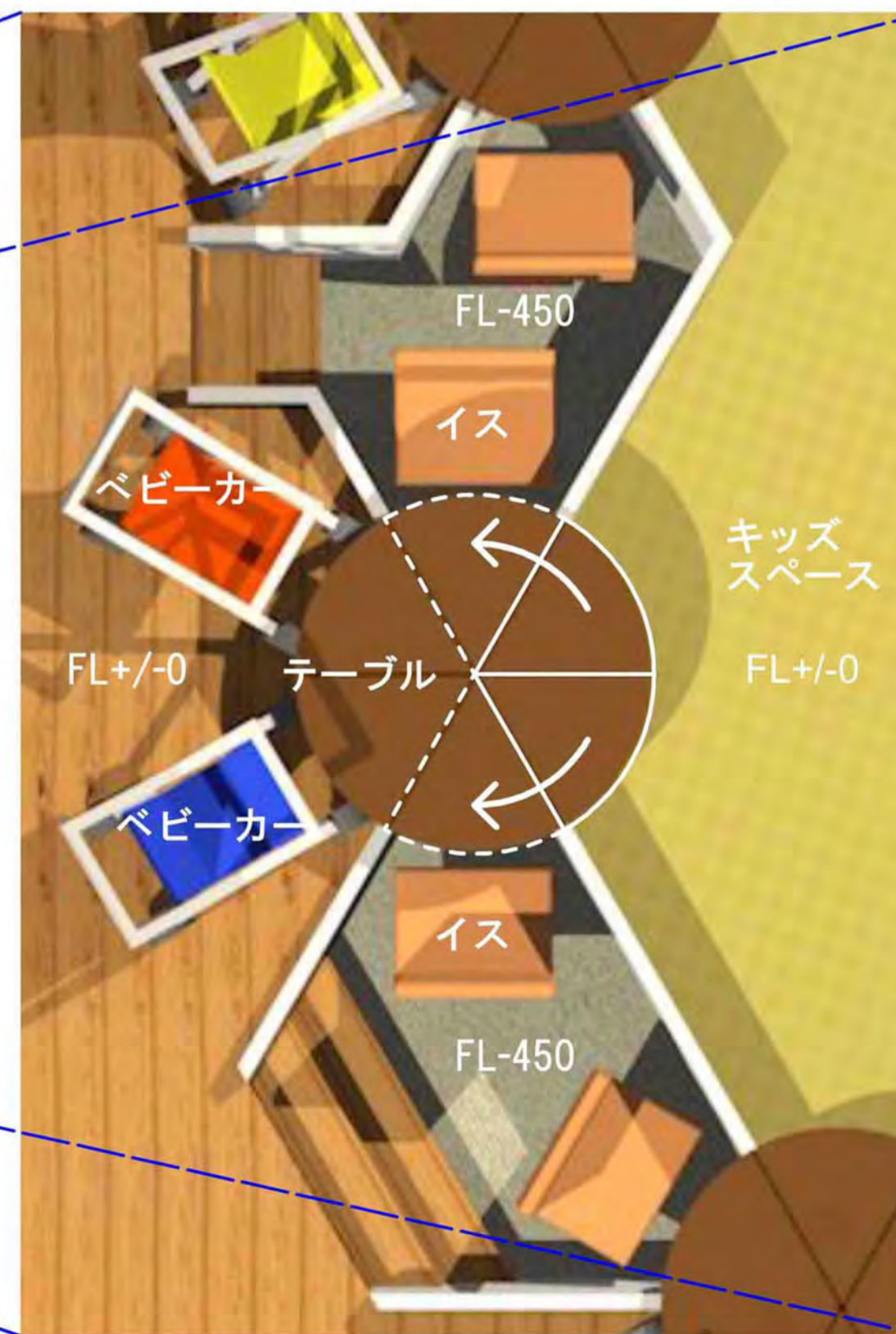
サードプレイスの場になることで、家での水道代、電気代等を他の親子とシェアすることができ、ECOに繋がると考える。



▲ 店舗平面図 1/100



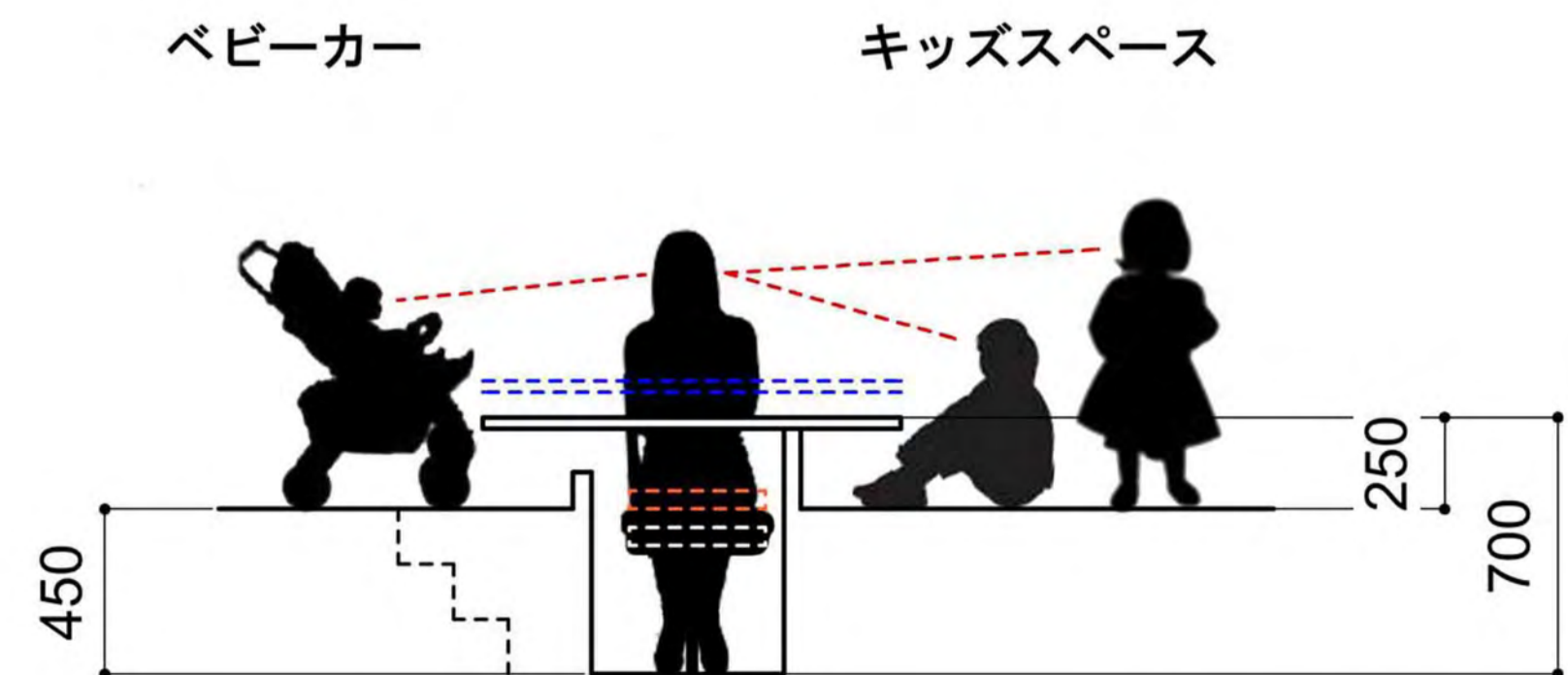
キッズスペース周り クローズアップ



テーブル周り 詳細

## 床レベルの違いで目線を合わせる

親が座るスペースの床を45cm下げ、ストッパーを置き、ベビーカーが落ちないようにする。ベビーカーに座っている子供と、キッズスペースにいる子供との目線をそろえることで、お互いに自然に向かい合い、安心感を得られる。



テーブル周り断面図 1/20

## 家具の調整で目線を合わせる

キッズスペース側のテーブルをスライド収納することで、遊ぶ子供の邪魔にならない。ベビーカーの種類に応じて、テーブルとイスの高さを変えることができる。